

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」育成の継続的な取組を目指して ～

輝く笑顔 学ぶ意欲 あふれる学校

肯定的な学習集団の育成、自己有用感を高める指導の充実

1 基礎・基本の学力の向上

- (1) 毎週水曜日を朝学習の時間とし、算数、国語、朝読書の3つを行う。
- (2) 読書記録カードを活用し、読書量を増やせるようにする。

2 校内研修の充実を図り、教師の授業力向上に努める。

- (1) 問題や課題、主発問、板書の工夫改善、学習過程や教材教具等の工夫改善に努める。
- (2) 学級経営についての意見交換を每学期行い、学級経営力を向上させる。
- (3) 11月1日(金)に全国学校体育研究大会にて、研究発表を行う。

3 全国学力・学習状況調査(6年)とさいたま市学習状況調査(3～6年)の結果の分析と活用

- (1) 全国学力・学習状況調査の分析を行い、課題と改善方法を教員間で共有する。
- (2) 各担任がさいたま市学習状況調査の分析を行い、課題と改善方法を検討する。

4 家庭・地域と連携した学習環境の整備

- (1) 家庭学習の手引きを作成し、家庭に配付する。
- (2) PTAと連携し、学習ボランティアの募集を行う。

<本年度の振り返り>

- (1) 学年や学級の実態に応じて、国語や算数の基礎力向上の時間とした。次年度は、基礎学力定着プログラムワークシートを活用しながら、より計画的に行えるようにしたい。
 - (2) 読書記録カードだけでなく、図書委員会がブックフェアを行うことで、学校図書館の利用者が増加した。次年度は、教科指導でも学校図書館を積極的に活用できるようにしたい。
- (1) 日々の授業力向上のため、時間割一覧を作成・共有し、互いに授業を見合える環境にした。長期休業中に校内希望研修を行い、中堅教諭から若手教諭へと指導方法を伝達した。
 - (2) 每学期学級経営研修を行った。次年度も継続したい。
 - (3) 盛会のうちに終えることができた。
- 全国調査を国語・算数主任で、市調査を各担任で分析した。全教職員で共通理解するだけでなく、長期休業中などを利用して授業改善の方法について研修を行いたい。
- (1) 研修推進委員会で再度話し合い、全校共通の手引きの配付は取りやめとした。実態に応じて、ブロックごとに自主勉強の仕方を配付したいと考えている。
 - (2) 学習ボランティアの募集は次年度行うこととする。